

お知らせ

記者発表資料
配布日時

平成26年11月21日

■同時発表先：広島県政記者クラブ
合同庁舎記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

古川の河道内の堆積土砂撤去を実施します！

古川は環境整備後20年余りが経過していることから、樹木の繁茂が進行し、これに伴う土砂やごみの堆積、水質の悪化、倒木の発生など、水辺環境の悪化が問題化していました。

平成26年8月豪雨等において、古川に大量の泥土が流れ込みました。河川内の堆積土砂を放置しておくとも水の流れを堰き止め洪水の原因となる恐れがあります。また、遊歩道にも土砂が堆積しており、散策などできないなど環境面にも問題を抱えているところです。

このため、安全な流水断面の確保と以前のように安全で散策や水遊びができる河川環境の復元を目指し、土砂の撤去を行います。（別紙-1参照）

1. 実施期間（予定）

平成26年11月25日～平成27年3月31日

2. 伐採施工箇所（別紙-2参照）

小瀬大橋（広島市安佐南区緑井6丁目）から上流の古川全域

※なお、小瀬大橋（広島市安佐南区緑井6丁目）から昭和大橋（広島市安佐南区緑井1丁目）を中心に実施。

3. 作業時間

午前8：00～午後5：00（予定）

日曜日は作業を実施しない予定です。（土曜日・祝祭日は作業を実施します）



太田川
シンボルマーク

<問い合わせ先>

国土交通省中国地方整備局 太田川河川事務所

副 所 長 江角 信良（えすみ のぶよし）

【担当】管理第一課長 丸下 淳一（まるした じゅんいち）

住 所 広島市中区八丁堀3番20号

電 話 082-222-9248（管理第一課）

古川の土砂撤去について

古川は環境整備後20年余りが経過していることから、樹木の繁茂が進行し、これに伴う土砂やごみの堆積、水質の悪化、倒木の発生など、水辺環境の悪化が問題化していました。

平成26年8月豪雨等において、古川に大量の泥土が流れ込みました。

河川内の堆積土砂を放置しておくとも水の流れを堰き止め洪水の原因となる恐れがあります。また、遊歩道にも土砂が堆積しており、散策などができないなど環境面にも問題を抱えているところです。

このため、安全な流水断面の確保と以前のように安全で散策や水遊びができる河川環境の復元を目指し、土砂の撤去を行います。

【工事に関する問合せ先】

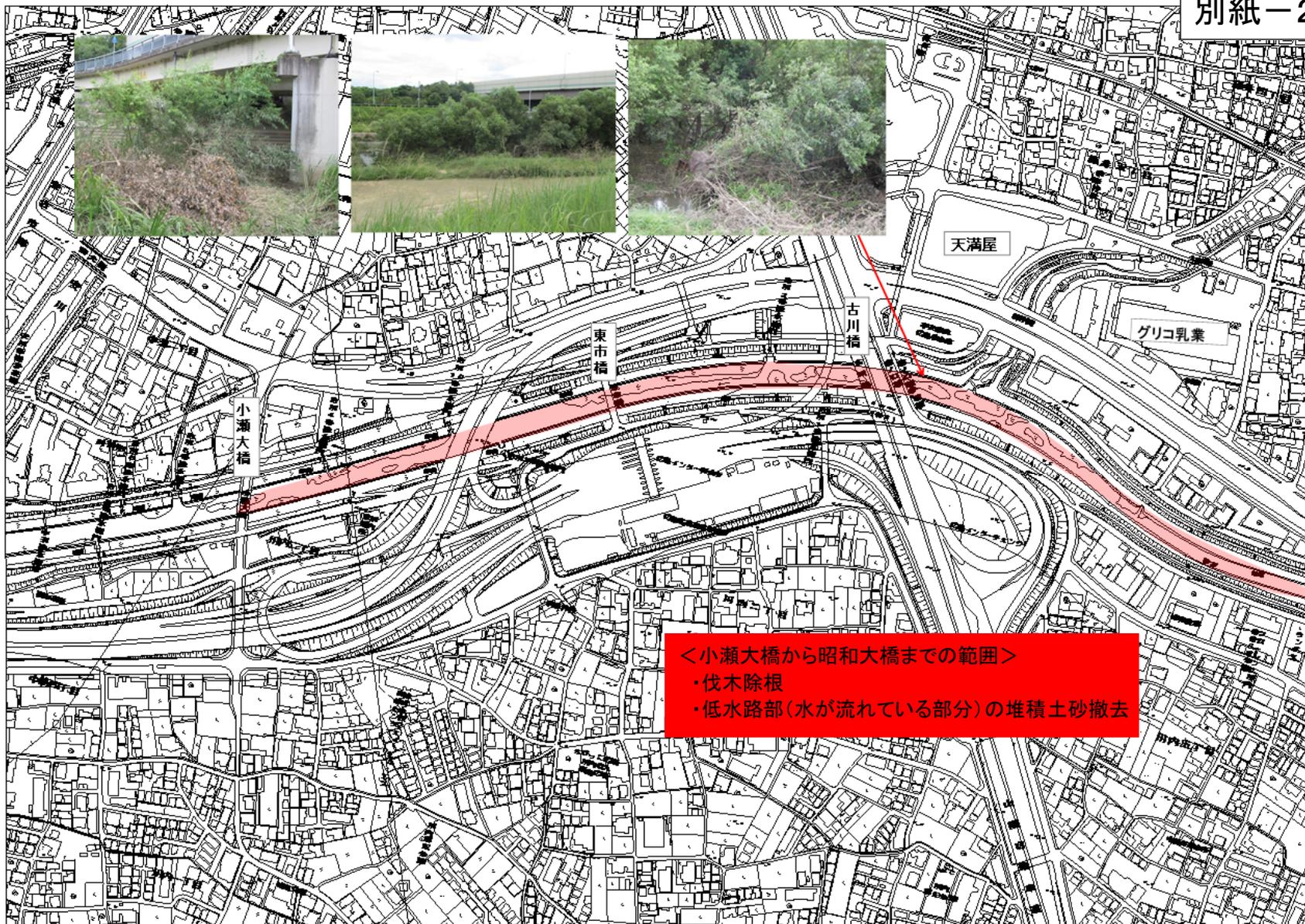
国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所大芝出張所
電話 082-237-3404

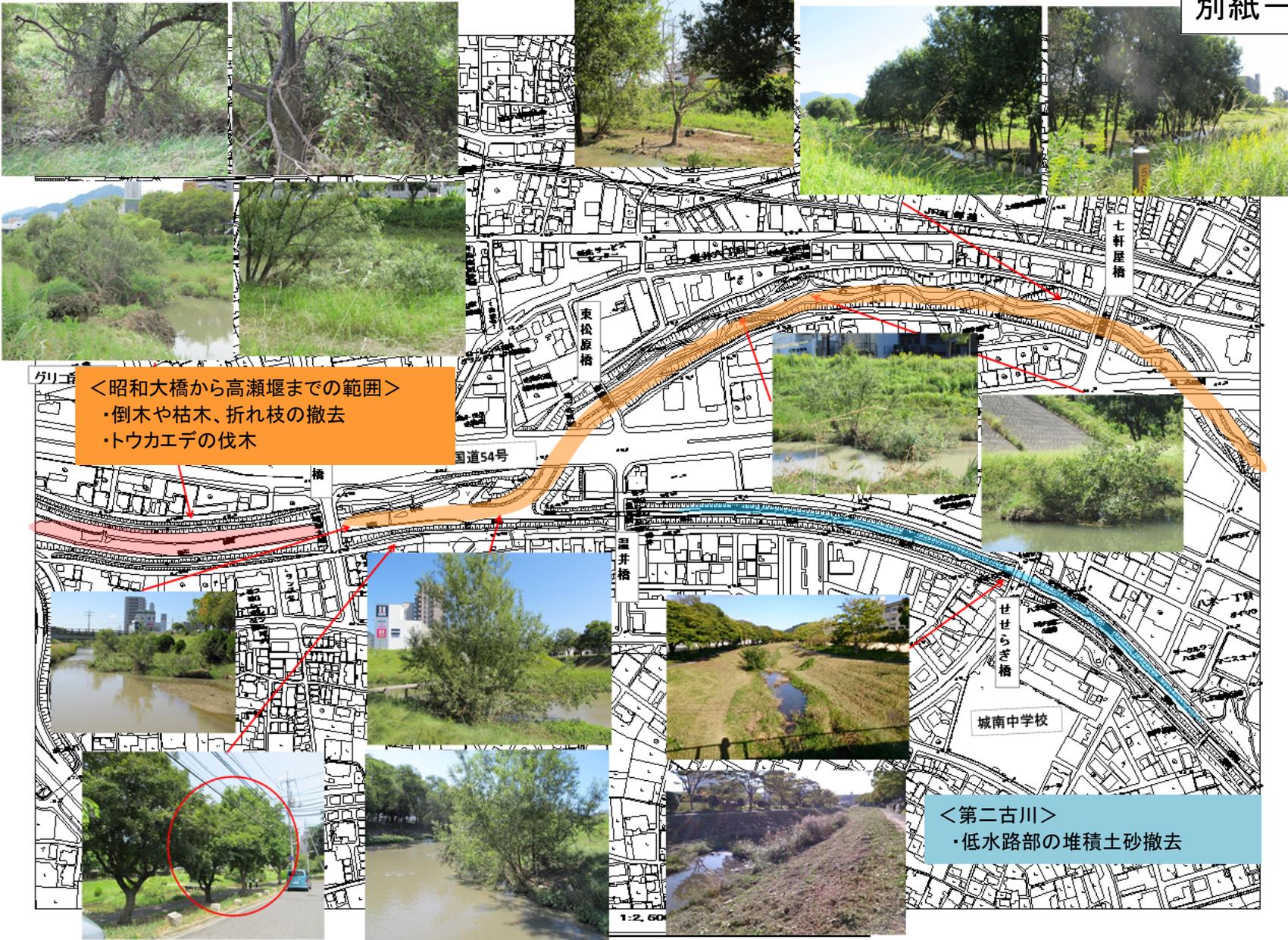


←河川内に堆積した土砂の様子
流水断面を侵してくることから阻害していることから、洪水時の被害の危険性が高くなる。



←遊歩道に堆積した土砂の様子
遊歩道に薄く土砂が堆積しており、普段は乾燥し硬くなっているが、水分を含むと、泥土となることから、歩行が困難である。





<昭和大橋から高瀬堰までの範囲>
・倒木や枯木、折れ枝の撤去
・トウカエデの伐木

<第二古川>
・低水路部の堆積土砂撤去

